

| 順位 | 氏名（議席） | 発言の要旨 | 答弁者 |
|----|----------|---|-------------------------|
| 20 | 鳥居 育世（1） | <p>1. ヤングケアラー支援における県事業との連携と外国にルーツを持つヤングケアラーへの支援について</p> <p>昨年度、静岡県のヤングケアラー調査が全県の小中学校、高校で行われました。その結果が今年度発表され、6月定例会にて質問させていただきました。富士市内の小中学校、高校の結果も情報提供され、今後活用していくとのことでした。この調査を受けて、県も動き始めました。ヤングケアラーの相談窓口や居場所づくり、伴走型支援などの取組が始まりました。</p> <p>東部の活動拠点として、富士市・沼津市・御殿場市でも活動が開始されました。富士市でもヤングケアラーの居場所づくりで、おしゃべりカフェを月2回開催し、ものづくりを通してコミュニケーションを取ると同時に、伴走支援も今後、行っていくとのことでした。</p> <p>また、そのおしゃべりカフェにて、ボランティアの方から、外国にルーツを持つ子供たちは、保護者の通訳や書類・お便りの通訳・要約など、責任が伴う重要な決断を任されている現状があり、その大変さを相談できる場がないとの意見が出されていました。</p> <p>富士市として、今後もこうしたヤングケアラーの支援をしていく中で、県と連携し活動を進めていく必要があると思いますが、富士市の対応について、以下質問いたします。</p> <p>(1) こども家庭課が、ヤングケアラーの窓口となっておりますがどのように連携していくのでしょうか。</p> <p>(2) 小中学校や高校とも連携し、SSWや教職員の皆さんにもヤングケアラーの理解とピアサポート事業を知ってもらい、活用してもらうことがよいと考えますが、教育委員会としてどのように対応していくのでしょうか。</p> <p>(3) 富士市国際交流ラウンジFILSには、ヤングケアラーへの取組はされているのでしょうか。</p> | 市長 及び 教育長 担当部長 |